

令和 3 年度 第 2 回 蕨市総合教育会議

令和 4 年度
教育事業の概要 (案)



令和 4 年 2 月 4 日
蕨市・蕨市教育委員会

⑥ 蕨市教育大綱（抜粋）

Ⅱ 蕨市の教育の目指す姿

基本理念

生きる力を育み
ともに学び
未来を拓く蕨の教育

基本方針

- I 確かな学力と豊かな人間性をもち
たくましく生きる子供の育成
- II 交流の輪を広げる
生涯を通じた学びの支援

基本目標

- ① 学びあい高めあう学校教育の充実
- ② 生涯学習を支える社会教育の充実
- ③ どこでもだれもが親しめる生涯スポーツの充実



学びあい高めあう学校教育の充実

1 少人数学級推進事業（35人程度学級）

・ 予 算 額：1,634万9,000円

・ 事業概要：

国・県では、小学1・2・3年生において35人学級を実施（令和3年度から5年かけて35人に引き下げる法改正 国：2年生～、県：3年生～）しているが、蕨市では市独自に4年生から6年生においても35人程度学級を行っている。

これにより、少人数での学習指導・生活指導を行い、低学年からの円滑な引き継ぎを行うとともに、一人一人の児童へのきめ細かな支援の充実を図る。

（担当＝学校教育課）



▲ 35人程度学級の実施による個に応じた指導

2 教育センターの効果的な運用

・ 予 算 額：1,601万1,000円（ICT支援員分を除く）

・ 事業概要：

これまでの教育相談、環境改善のための支援、適応指導、日本語特別支援、教職員研修・学校コーディネート事業のうち、GIGAスクール構想に基づくICTを効果的に活用するための教職員研修について一層の充実を図る。

ICT支援員を配置（次ページ参照）し、教職員のICT活用指導力を向上させ、児童・生徒の情報活用能力を育成するための研修を充実させていくほか、クラウド上に優れた教育実践に係る資料等を集約し、教職員が必要なときに共有し、個別に研修できる環境を併せて整備する。

（担当＝学校教育課）



▲ ICTを効果的に活用するための教職員研修

3 学校 ICT 環境の活用（ICT 支援員の配置）

・予算額：990万円

・事業概要：

令和5年度までに予定していた全児童・生徒への各1台のPC端末等の整備を、令和2年度に前倒しして実施したことを受け、端末等により効果的な活用を図っていく。

令和3年度に引き続き令和4年度も、ICT支援員を配置し、授業や校務、教員研修など、学校における教員のICT機器等の活用支援をとおして、全ての学習の基盤となる資質・能力である児童・生徒の「情報活用能力」の育成を図っていく。

（担当＝学校教育課）



▲ ICT支援員によるICT機器等の活用支援

4 ALT や GTEC を活用した外国語教育

・予算額：4,410万3,000円

・事業概要：

令和2年度からの小学校に続き、令和3年度から、中学校においても新学習指導要領が全面実施となり、外国語の授業を英語で行うことを基本とするようになるなど、外国語教育が大きく変化している。これらの変化に対応し、外国語教育のより一層の充実を図るため、各小・中学校ALT1名ずつの配置を継続する。また、中学校2年生及び3年生には、GTEC（英語4技能テストの一つ）を実施し、教員研修、GIGAスクール端末を活用した外国語学習を組み合わせた生徒の外国語活用能力の一層の向上を図っていく。

（担当＝学校教育課）



▲ GTECを活用した外国語活用能力の向上

5 通級指導教室の増室（難聴・言語通級指導教室）

・予算額：228万5,000円

・事業概要：

通常の学級において学習場面や生活場面で、ことばやきこえに一部特別な指導を必要とする児童生徒に、よりよい学校生活が送れるように支援を行う「ことばときこえの教室」を、入室希望者の増加に伴い、令和4年度より南小学校に新たに設置する。

東小、北小の「ことばときこえの教室」に加えて新たに増室することで、他校から通室する児童・保護者の負担の軽減を図るとともに、適切な支援を行う。

（担当＝学校教育課）



▲ 通級指導教室(写真は北小学校)

6 教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）の配置

・予算額：684万6,000円

・事業概要：

教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）を継続して配置し、学校における働き方改革の柱の一つとして位置付け、各種取組とともに効果的な活用を進めていく。同支援員が教員の業務の一部を負担することにより、教員が児童・生徒と向き合う時間をより多く確保することができる。これにより、教職員の負担軽減及び多忙感の解消、時間外勤務時間の一定の削減を進め、働き方改革を促進していく。

（担当＝学校教育課）

7 学校体育館エアコン設置工事

・予算額：1億424万4,000円

・事業概要：

近年の猛暑対策として、学校における教育環境の向上とともに、避難所としての機能を高めるために学校体育館に空調設備を設置するもので、令和3年度は全ての中学校に空調設備を設置した。

令和4年度は、北小学校と中央小学校で設置工事を行うほか、小学校2校の設計委託を行う予定。

（担当＝教育総務課）

8 コミュニティ・スクール事業の推進

・予算額：9万円

・事業概要：

学校経営・運営や学校課題に対して、広く保護者・地域住民の皆さんが参画できるよう、東小学校、塚越小学校、東中学校の3学校区を1地区としたコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入している。共通した目指す児童・生徒像「『自分を大切に思える』子供を育てよう」を具現化するために、「地域とともにある学校づくり」を推進していく。

(担当＝学校教育課)



▲ 学校運営協議会の様子



生涯学習を支える社会教育の充実

1 電子図書館サービス

- ・ 予 算 額：500万円（国補助金・500万円）
- ・ 事業概要：

インターネットを通して、パソコンやスマートフォンなどの自分の端末から読書を楽しむことができる電子図書館サービスを開始する。電子図書館では、図書館の開館時間に捉われることなく、24時間いつでも電子図書の貸し出し・閲覧・返却が可能となり、図書館に来館することなく非接触で利用できることから、コロナ禍における「新しい生活様式」に対応したサービスを実践する。

（担当＝図書館）

2 わらび学校土曜塾

- ・ 予 算 額：661万1,000円（県補助金・402万7,000円）
- ・ 事業概要：

地域及び家庭が連携・協力し、子供たちの自主学習及び体験学習等を通して学ぶ楽しさを教え、学習習慣の定着及び基礎学力の向上を図ることを目的とし、子供たちの自主学習（宿題、課題等）の支援や、体験学習等を行う。土曜日に小学校施設を使用し、運営は各小学校区に設置した実行委員会で行い、元教員や大学生、地域のかたがスタッフを務める。

（担当＝生涯学習スポーツ課）



▲ わらび学校土曜塾（写真は中央東小学校区）

3 音楽によるまちづくり


- ・ 予 算 額：325万円
- ・ 事業概要：

音楽を中心とした蕨市の芸術文化の振興と、その推進を図るとともに、音楽により蕨のまちの魅力を発信することで賑わいを創出し、蕨市のイメージアップを図ることを目的とする。令和4年度も引き続き、「蕨市民音楽祭の開催」をはじめ、「音楽関連情報の発信」、「小・中学校への音楽家の派遣」を予定。

（担当＝生涯学習スポーツ課）



▲ 蕨市民音楽祭～わらジャズ～
（令和3年8月29日開催 ※ 動画撮影）

 わらびでしか聴けない音がある——わら音。

4 市民や社会教育関係団体・PTA等を対象とした人権講演会の開催

・予算額：44万9,000円

・事業概要：

さまざまな場面で、人権問題を分かりやすく、また、身近な問題として学習できる事業を展開。お互いを尊重する心を育むことで差別のない社会を実現するために、公民館等を会場として「人権尊重社会をめざす市民のつどい」等の人権講演会を行い、人権教育の推進を図っている。

(担当＝生涯学習スポーツ課)



▲ 令和3年度 蕨市PTA連合会研究協議会・人権講演会・青少年健全育成をすすめる蕨市民大会(令和3年12月11日開催)



どこでもだれもが親しめる 生涯スポーツの充実

1 各種イベントやスポーツ教室等の開催

- ・ 予 算 額 : 404万1,000円
- ・ 事業概要 :

毎年恒例となっている市民ロードレース大会や市民水泳大会のほか、体力テストや少年スポーツ教室、民間温水プールの借り上げ事業等を実施し、健康・体力づくりに親しめる機会を提供する。

(担当=生涯学習スポーツ課)



▲ 第60回市民ロードレース大会
(令和元年度の様子)

※一部の事業については、コロナ禍以前に撮影した写真を使用しています。